

移動市役所議事録【南中学校区(11月5日(月)開催)第1部】

質 問	市長の回答	進捗状況
<p>【鶴ヶ丘地区の道路改良について】</p> <p>鶴ヶ丘地区は地震と津波に強いということがあり、世帯数が 500 世帯を超えた。子どもの数も増えると予想されている。しかし、地区の幹線道路が1本しかなく、朝夕の渋滞が非常に激しい。県道へつながる道路との交差点は青信号の時間が短いため、走っている車もスピードを上げて走っている。子どもの通学時間と重なり非常に危ない。さらに津波が起こった場合、南側の塩浜地区と北側の平原地区から多くの人々が避難してくる。そのような場合に幹線が1本しかなくて緊急車両は地区に上がってこられるのだろうか。今回の要望としては、現在の道路を西側にも延ばしてほしい。これについては平成28年6月24日に当時の市長に要望書を提出しており、「大規模工事、大規模予算、その他の理由により実施は困難」という回答をもらっている。確かにそうだと思うが、それならば南側の霊園から下っている私道を改良していただけないだろうか。</p> <p>南延岡地区は旭化成柔道場までで開発がとまったと思っている。しかし、スーパーマーケットやディスカウントショップができ道路の混雑がひどい。ライフラインとして道路を全体的に改良しなければいけないと考えてもらえないだろうか。</p>	<p>私も南中出身で、鶴ヶ丘ができたときから見ており、この問題には取り組まないといけないと考えている。着任後から担当課と話をしているが、西側に向かって延ばすと土地の買収の必要性などから難しいという現実がある。一方で、南側に道路があるが、地域全体で立ち退きなどの理解があれば上げられるが、こちらも簡単にはいかない。短期間で改善することが難しいという現状ではあるが、大きな事業費をかけて用地を買収する困難さよりは、今ある道を拡幅する方を選ぶとした場合、おそらく一気に拡幅することは難しいと思うので、例えば、普段の通行のときとは関係ないが、最低限、緊急車両が少しでも地区の奥に入ることができるように、少しずつ待避所的な用地を確保していくことや、用地を売らない方法として、緊急時には家の敷地の一部を使わせてもらうことなら可能性があるかもしれない。</p> <p>狭い道や区画整理をしていないところでも、理解をいただき、緊急車両だけは通行・駐車させてもらえるように、緊急時の道路の確保というようなことを来年度新たな事業として起こして「命のスペース確保」のような形ができないかと考えている。市内何ヶ所かで協力してもいいという声もいただいている。この事業を鶴ヶ丘でさせてもらうとしても、幹線の問題とは別の問題ではあるので非常に苦しいなという状態は変わらないが、一方で、あきらめないで良い方法をということではあるので、膝を突き合わせて鶴ヶ丘の皆さんと話をさせていただきたい。</p>	<p>鶴ヶ丘地区に新たな道路をつくることは現実にはなかなか難しいところですが、既存の道路の拡幅も含め、現在の事態をどう改善していくか、引き続き地域の皆様と協議しながら検討して行きたいと考えております。</p>

移動市役所議事録【南中学校区(11月5日(月)開催)第1部】

<p>【方財町の道幅について】</p> <p>方財町は災害に弱く、住民は津波のことを心配していた。市には6年前から小学校の屋上や保育所などを避難場所として整備していただいたが、防災活動をしてもらえるような広場が、小学校の運動場くらいしかない。</p> <p>今、地域で検討しているのが、神社の北側にお寺の駐車場がある。広さは200坪ほどあり神社は協力的であるが、セットバックや道の拡張などの申請を出したが、市の規約に収まらず費用も不足していたため、頓挫している。いざというときに逃げるところや緊急車両が来て活動ができるところが地域に2ヶ所は必要だと思う。</p> <p>方財町は海と川に挟まれ、高い山や建物もない。できれば現場を確認していただき、地域住民が安心できるようなスペースを造ってほしい。</p>	<p>方財町は世帯も多い。道幅が狭く離合も難しい。私も、いただいたお話に対応できる方法をもう少し模索したいと思うし、直接現地を見ながら解決策を検討させていただきたい。課題と制約はあるが、まずは伺わせていただきたいと思う。</p> <p>先ほど(鶴ヶ丘地区からの要望)もお話した、道が狭いところは地権者にご了解をいただき、緊急車両が少しでも奥に入ることができるようにしたい。</p> <p>まずは現地に行かせていただき、区長さんなど含めて話し合いをさせていただければと思う。</p>	<p>平成31年度から部分的にでも地権者等のご協力を得て緊急車両の走行等を可能にするなどの「安心安全プラスワン改良事業」をスタートさせますが、用地買収等に多額の費用がかかるケースなどは現実にはなかなか着手することが難しいところです。</p> <p>より低コストで即効性のある箇所や方法がないか等について、引き続き地域の皆様と協議・検討して行きたいと考えております。</p> <p>【土木課】</p> <p>○「安全・安心プラスワン改良事業」</p> <p>【新規】(H31年度予算:19,000千円)</p>
---	--	--

移動市役所議事録【南中学校区(11月5日(月)開催)第1部】

【緑ヶ丘児童館について】

緑ヶ丘児童館は母子支援施設と併せてできて、今年で47年経つ。母子支援施設は昨年度末で廃止となったが、児童館は3階建ての1階部分3部屋を使用し活動している。児童館の活動内容は

午前：「幼児部」市内から、保育園や幼稚園に行っていない子どもをつれた母親が集まり交流。

午後：「学童」学校が終わった後、子どもたちが来る

土日や長期休暇：朝から夕方まで子どもが来て遊ぶ

地域活動クラブ：小さな子どもがいる母親が自分の研修のために、勉強会をしたりキャンプなどいろんな活動をしたりする拠点

その他、夏祭りや餅つきなどの季節行事も行うが、子どもたちだけでなく保護者や地域の皆さんなどが協力してくれ緑ヶ丘の児童福祉の拠点となっている。施設は指定管理施設で、残りの指定管理期間（2年4ヶ月）を終えたあとどうなるのか。また、建設から47年経過した建物についても危険だと思う。児童館の職員も毎月避難訓練などをしながら、被害を最小限にしようとしている。今後の児童館について何か検討していれば、お話を聴きたい。まだであれば早急に検討していただきたい。

「放課後児童クラブ」を作ろうと学校や地域と話をしているが、決定した場合、児童館を取り巻く環境が変わり新しい動きができるので、そのときに今後の位置づけをどうするかということが一つある。

一方で、いずれにせよ「児童館」としての必要性はあると思っているので、指定管理期間が終わった場合は、管理者を募集し大事な役割を果たしていただくということを検討していく。

建物については、当分今のまま活用していただきながら、先々考えていくということになるのではないと思う。まずは、緑ヶ丘小校区に放課後児童クラブがないという状況を解決することを考え、そこを踏まえていろんなことを考えていきたい。

市といたしましても、緑ヶ丘児童館については、地域にとって大変重要な子育て支援施設であると考えています。

しかしながら、緑ヶ丘児童館が入っている施設は、建設から47年が経過しているほか、併設されていた母子生活支援施設が廃止され、施設の大部分が未使用となっている状態です。

また、同地区では、放課後児童クラブを小学校内での開設に向けて調整を行っている段階であり、その開設により、地域のニーズも変わってくる部分があるものと考えております。

これらを踏まえ、緑ヶ丘児童館については、公共施設維持管理計画に係る個別施設計画を策定していく中で、主な利用者である子育て世代の皆様をはじめ、地域の皆様にご意見を伺いながら、今後の方針を検討して参りたいと思います。

移動市役所議事録【南中学校区(11月5日(月)開催)第1部】

<p>【南延岡駅について】</p> <p>① 南延岡駅にエレベーターをつけてほしい。</p> <p>② 移動市役所があることを今日、回覧板で知った。うちの周りの人は今日開催されていることを知らないのではないか。</p>	<p>①国は、乗降客数が1日3,000人以上の駅をバリアフリー化する方針。バリアフリー化事業の主体はJRとなるが、国・県・市・JRが費用を出し合っていることが多い。乗降客数3,000人以上の駅の整備は終わりつつあるので、3,000人未満の駅での整備も始まるようだ。私たちが名乗りを上げようと現在JRと話し合いを始めている。県内で話し合いが先行しているのは佐土原駅である。その次に南延岡駅という順番になるような気がする。一方で、工事費が3～4億円かかりそうだという話がある。元々南延岡駅は貨物線が多い。ホームは線路にはさまれており狭く、エレベーターを設置するためにはホームの幅を広げる必要がある。そうすると、線路やほかのホームもずらさなければならないため、確定的な額ではないが、3～4億円かかるのではないかとJRから話を聞いている。</p> <p>このように工事費用が多額であることや工事が難しいと言われているが、われわれとしては安い経費でできないかという話をしていく。すぐには良い解決策が出るかはわからないが、いずれにしてもわれわれとしては働きかけを始めており、工事費用が高いからとあきらめずに、最小の経費で最大の効果を挙げるということを議論していかないといけない。</p> <p>私も長年南延岡駅を利用してきたが、上り下りが頻繁にある。荷物を落として人にぶつけてしまったという話もあるようなので、このままの状態ではなく解決を図るためJRと話を進めていきたい。JRとしては佐土原駅を優先的にと考えているようだが、南延岡駅も安い経費で工事を行う方法を検討してほしいと働きかけたい。</p> <p>②移動市役所の案内が今日になってしまったということで申し訳ない。今日まで移動市役所を何度か開催してきたが、若い現役世代の参加が少ないのではないかとこの指摘を受けることがあったので、案内の方法などは今後検討したい。</p>	<p>①南延岡駅のエレベーター設置等のバリアフリー化については、既にJR九州とも協議を始めていますが、構造上かなりの経費がかかりそうな状況です。そのため、もっと経費を抑えた工事方法等について現在JR九州に対し検討を要請しており、今後も協議を鋭意進めてまいります。</p> <p>②移動市役所開催のお知らせの周知方法について、より効果的な方法をさらに検討してまいります。</p>
---	---	--

移動市役所議事録【南中学校区(11月5日(月)開催)第1部】

<p>【さざんびあ前の道路について】</p> <p>県道と国道の間にある、南延岡駅の南側（さざんびあ前）の道路について。通学路であるが狭い。しかも狭いだけでなく電柱が14本あり通りづらい。交通安全上問題があると思う。それだけでなく、災害時に電柱がかなり倒れて電線も垂れ下がってくると思う。津波が来た場合あの道路しか避難する道がないが、浜町の住民はどうすればいいのだろうか。緊急時に道路が遮断されることも考えられるので、あの道路は無電柱化すべきではないか。電線の地中化のみであれば簡単にできるのではないか。</p>	<p>お尋ねの通り、浜町から西に避難するにはあの道路しかないが、拡幅ができなくても緊急車両の通行をどうするかなどを考えることが非常に重要な課題だと思う。</p> <p>市が無電柱化事業を行うとなると費用が非常に大きくなるので、何か良い知恵がないか電力会社に投げかけたいと思う。</p>	<p>本路線は、国道10号と県道稲葉崎平原線を繋ぐ交通量の多い路線である事は十分認識しています。また、電線の地中化は地震時の電柱倒壊による道路閉鎖を防ぐには大変有効であると考えています。</p> <p>しかしながら、本路線の電線地中化には地上機器の設置スペースが無いために現道の幅では施工不可能であり、電線地中化するためには、家屋移転や用地買収など、地元住民の方々のご協力が必要となります。また、既設上下水道やガス管など既存の地下埋設物の移設等も必要であり、それには多額の費用を要します。そのため、現時点では電線地中化は難しいと考えております。</p> <p>ただ、近い将来、電線地中化に関する技術革新等が進み、埋設スペースの縮小や工事費の軽減が図られれば、他の要望箇所を含め緊急性や危険性を考慮し、実施について検討して参りたいと考えております。</p> <p>また、暫定的な対策ではございますが、土地の無償貸借等の地元のご協力があれば、安全確保のために子供やお年寄りの方が一時的に待避できる箇所の整備ができないか検討して参ります。</p> <p>さらに、交通の支障となっている電柱につきまして九電およびNTTと協議した結果、沿線の土地所有者のご協力が得られれば民地への移設可能との回答を得ましたので合わせてご報告します。</p>
--	--	---